

「人財」でお困りなら

株式会社
ミヨシ・ロジスティクス

042-779-6619 <http://miyoshi-log.co.jp/>

組字製作：株式会社クワイムエヌシーター

KANAKEI

かながわ経済新聞

会社法務の専門
りんくグループ

☎ 042-730-788
www.lim-tan.co

2017年 10月

採用からの人財教育

入職時における安全教育というテーマで話してきましたが、今回は職場におけるモラルアップについてのお話です。ちなみに「モラル」と「モラル」の意味の違いが分かるでしょうか？

「モラル」とは一般的に道徳観で、「モラル」は義務遂行上における意欲のことだそうです。

今回は職場での「モラル」についてのお話です。

これまでお伝えしてきましたが、話の内容は、弊社で実際に「入社時安全教育資料」がベースになっています。

その中で弊社では「モラルアップ実践10か条」を作成・紹介しています。以下、内容を紹介します。

「社務だけでなく、他社の方と関わる機会が多い当社ですので、お互いに気持ちの良い職場づくりをしなければなりません。当社としては次の10か条を掲げ、安全で気持ちの良い職場を目指しています。」

①出勤時・作業時は交通ルールを守り運転します

②すすんで明るい挨拶をします

③制服を清潔に正しく着用します

④吸い殻やゴミの捨て捨てはしません

⑤くわえタバコや歩きながらの飲食はしません

⑥ポケットに手を入れたり携帯電話を見ながら歩いたりしません

⑦落ちているゴミは拾いながら歩きます

⑧約束・決められた時間は守ります

⑨(喫煙者は)決められた場所ですべて喫煙をします

⑩身の回りの整理・整頓を行います

以上が10か条となります。いかがでしょうか。どれも当たり前のことですが、これらが意外とできないものです。「すすんで明るいあいさつ」は特に難しいとは思っています。

あいさつというのは仕事でなくても人と関わっていく上で基本的なことですので、これを機会に職場におけるモラルアップを考えてみてはどうでしょうか。

(ミヨシ・ロジスティクス 代表取締役/南西フौरラム 委員長)



吉田英訓の
着眼大局 着手小局
～人と企業～

かながわ経済新聞
2017. 10月号
吉田英訓の
連載記事が掲載されました

